



おおふな
神奈川県立 大船高等学校



所在地：鎌倉市高野8番地1号 〒247-0054
 電話：0467(47)1811
 FAX：0467(43)4856
 URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/ofuna-h/
 創立：昭和58年1月
 課程：全日制
 設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	400	397	379	1176
学級数	10	10	10	30

(生徒、学級数については令和6年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- JR大船駅より
 - ・徒歩 25分
 - ・バス「高野台」行き「大船高校」下車徒歩2分
- JR横須賀線北鎌倉駅下車徒歩18分



教育活動の特徴

- 基礎学力を充実させながら、生徒一人ひとりの個性を伸ばすことを目標として教育課程を編成しています。1、2年生では共通して学習する教科・科目が多く、3年生には多様な選択科目を用意しています。



授業風景
ICTを活用しながら主体的な学びを進めています。

- 古都鎌倉に位置するという利点を活かし、地域や文化についての授業を行っています。また、「能狂言教室」「鎌倉探索」等で日本特有の文化に直接触れる機会を設けています。
- 教師と生徒・生徒同士の心のふれあいを大切にし、互いに信頼できる関係を築いています。その中で、生徒の自主自立の心を育てることを目指しています。
- 創立以来「生徒が自ら進んで自分自身を鍛える場」の言葉を大切に生徒の挑戦をサポートしています。

自然豊かな鎌倉にある大船高校は、落ち着いた雰囲気の中で、勉強するには大変適した環境です。大船高校はよく「昔ながらの高等学校」と言われます。文武両道で高校時代を熱く過ごせる学校だからです。

進路を拓く力を育む

- 日々の授業では、「基礎・基本」から「応用・発展」へ向けて、丁寧な教科指導が繰り返されています。補習や講習も実施されます。特に夏期講習には多くの生徒が参加しています。
- 一人ひとりの進路希望の実現に向けて、現役合格を可能にする進路指導をしています。生徒は自分自身が納得できる進路に辛抱強く挑戦しています。
- 大学入試は刻々と変化しており、生徒は、その変化に自ら対応し、進路実現に向けて、前向きに努力を続けています。
- 進路相談室の書棚には、生徒が志望する大学等の過去問題集や、ほぼ全国にまたがる大学・短大の学校案内・入試要項等、進学のための基礎資料が整備されており、昼休みの時間や放課後に閲覧できます。来室する生徒の進路相談に応じ、問題集については短期の貸出サービスを行っています。自習室もあり大いに活用されています。

令和5年度の合格状況を紹介し
ます。詳細はHPも併せてご参考
にしてください。

国公立大学 現役 23名、既卒 6名

北海道大学、茨城大学、群馬大学、電気通信大学、東京藝術大学、東京農工大学、横浜国立大学、山梨大学、信州大学、静岡大学、奈良女子大学、鳥取大学、山口大学、香川大学、東京都立大学、神奈川県立保健福祉大学、川崎市立看護大学、横浜市立大学、静岡県立大学、周南公立大学、宮崎公立大学

私立大学 現役 1042名、既卒 91名

早稲田大学、東京理科大学、学習院大学、明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、成城大学、成蹊大学、明治学院大学、武蔵大学、工学院大学、芝浦工業大学、東京電機大学、東京都市大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、東京農業大学、神奈川大学、北里大学、星薬科大学、国際医療福祉大学、國學院大學、ほか

短期大学 2名、専門学校・その他学校 9名、就職 2名

自らの手で創る喜びを（学校行事）

教科学習においてはもちろん、ホームルーム、生徒会、部活動、学校行事などの集団的な自治と協力をとおして、「健康で明るい、実践意欲を持つ人間」、「自己の責任を自覚し、進んで他との協調をはかる人間」、「鎌倉の自然と文化に学び、郷土を愛する心ゆたかな人間」を育てることなどに努めています。



食品栄養研究部
は白帆祭で活躍

生徒自身の手作りで大いに盛り上がるのが白帆祭（しらほさい・文化祭・6月）、六国祭（ろっこくさい・体育祭・9月）、球技大会（7月・3月）を柱とした生徒会行事です。若いエネルギーが校内に満ちあふれます。遠足や修学旅行は友情を深め、良い思い出づくりの場となっています。

本校の「白帆祭」は毎年千人を超える来場者でにぎわう文化祭です。各部活動の発表の場であると同時に、クラスや有志、同窓会、PTA、地域等の参加もあるバラエティに富んだ催しです。「六国祭」は体育祭の枠を超えたフェスティ

バルで、応援、チア、仮装、パネルと各競技種目からプログラムが編成されます。何ヶ月も前から準備・練習に励み、熱気あふれる一日を演出します。クライマックスは後夜祭最後の花火打上で、日もすっかり落ちた中での体験はすばらしいものです。いずれの行事も生徒が主体的に自立的に企画・運営を行い、このことが本校の学校目標の一つである、生徒の自主性を育てることとつながっています。



六国祭でのチアリーディング

鎌倉探索（1年）、能狂言教室（1、2年）は本校の特色行事であり、郷土の自然や歴史と古典芸能文化に触れる学習の場です。普通救命講習（1年）も自他の生命の尊さを学ぶ大切な行事です。各種行事は、クラスの結束を固める機会であるとともに、若い力の発場の場となっています。

自主・自立（生徒会活動～委員会・部活動）

高校生活を送る上で関わりの深い組織といえば生徒会でしょう。その活動の中心となるのは、会長を始めとする7名の役員から構成される執行部です。その執行部のもとに各種委員会、運動部、文化部、同好会が活動しています。

各種委員会は学校生活を充実させるため、それぞれ機能分化した取組を行っています。中でも新聞委員会は地域に根ざした今日的な課題を取り上げ、独自の切り口で取材を続けながら、問題を提起しています。良質の紙面作りには定評があり、毎年県や全国のコクニコンクールで優秀賞等をいただき、全国大会の常連校になっています。令和5年度まで15年以上全国高等学校総合文化祭に参加しています。

また、本校では部活動に力を入れています。部活動の加入率はとても高く、運動部が15、文化部が14、同好会が3、計32あり、盛んに活動しています。また、地域のイベントに吹奏楽部、剣道部などが参加協力し好評を得ています。ここ数年ではウエイトリフティング部、剣道部、弓道部、文芸部、美術部は目覚ましい活躍をみせています。令和5年度はウエイトリフティング部、新聞委員会は全国大会、剣道部、陸上競技部は関東大会出場等、上位大会に参加し実績をあげています。その他の部においても各種大会やコンクールなどで活躍しています。